

子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち



広報

くじ

2016
月1日号
12 No.258

—活気づく浜

定置網漁で獲られた鮭の水揚げ。長い旅を終えて帰ってきた海の恵みに、朝焼けに染まる浜は、活気にあふれます。

主な内容

地域の力で次世代を育成	P 2～7
秋の叙勲・表彰	P 8
久慈あまちゃんマラソン	P 9
News & Info	P 10～11



■キャリア教育 Q & A

Q. キャリアってなに？

A. 中央教育審議会では、キャリアを「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ね」と定義しています

Q. なぜ、今キャリア教育が重視されているの？

A. かつての「一度就職すれば定年まで同じ会社で勤め上げるのが当然」といわれた時代においては「変化への対応力」は重視されてきませんでした。しかし、雇用の種類・形態の多様化に加え、社会環境や自然環境も激しく変化している現代においては「さまざまな変化に対応し、主体的に判断し、生きていくことができる能力」が必要になっています。このことから、この育成を目指して始まったのがキャリア教育。

Q. 「働く」とは？

A. 社会で生きていくため、自立した個人として社会生活を送るためには「働く」ことが不可欠です。「働く」ことは、金銭を得るためのなりわいとしての「職業」のみを指す訳ではなく、人が生きていく上で果たす多様な役割の中で「自分の力を発揮して社会（あるいはそれを構成する個人や集団）に貢献すること」であり、

家庭における役割や、地域活動への参画なども含まれています。キャリア教育では、そのなかでも特に「職業」を中心に置きながら、総合的に「どう働くか」という勤労観・職業観を養うことを通じ、個人と社会の接点を幅広くとらえさせ、子どもたちに自ら「どう生きていくか」を考えさせるための教育です。

Q. 将来の職業を決めるための活動ではないの？

A. キャリア教育は、直接的に「職業を教える」「将来の職業を考えさせる」といったものではありません。「職業」を教材として「社会で主体的に生きていくための能力」を学ばせることを目的としています。

Q. 「発達段階に応じて行われる」とは？

A. 例えば、中学校で実施している「職場体験」と高校や大学で行う「インターンシップ（就労体験）」は、どちらも実際の職場を舞台に実施する取り組みですが、その目的は異なります。職場体験の目的は「[仕事]を切り口として、学校や家庭以外の[社会]を体験すること」。対して、インターンシップは「将来的に進みたい（進む可能性がある）職業を、試行的に体験して社会人への移行準備に役立てること」を目的としています。



地域の力で次世代を育成

人口流出により地域コミュニティの担い手不足が深刻化する中、地域を存続させていくためには、地域を担う人材の育成と地元定着が課題となっています。そのためには、学校だけに任せるのではなく、住民や企業をはじめとする地域社会が連携して教育を行っていくことが不可欠です。

市が地域の企業等と協力して実施している「キャリア教育」への支援を例に、地域ぐるみで進める「次世代の担い手育成」を考えます。（7ページまで）

人口減少が招く負のスパイラル 解決の糸口は管内就職率の向上

久慈市の新規高校卒業生が、久慈管内（久慈市・洋野町・野田村・普代村）に就職する割合（管内就職率）は約42%（平成27年度）久慈地区職業安定所調べ。近年は改善の兆しがみられるものの、依然として県内でも低い水準にあります。

現在のようない就職・進学による人口流出が続いた場合、次世代の担い手となる若者が居なくなり、地域の維持が難しくなります。また、一定の人口規模が確保できないと産業自体が縮小し、さらなる人口減少を招くという負のスパイラルに陥ります。これからも、地域を維持していくためには、管内就職率の向上が急務となっています。

雇用対策と共に実施している キャリア教育に対する支援

久慈市では、平成27年度に新市総合計画を策定しました。この計画で重点戦略のひとつに位置付けられているのが「魅力ある仕事起しプロジェクト」で、企業誘致や起業支援に加え、管内就職率を増やす取り組みを進めています。

この一環として、進学などで久慈を離れた人が市内で就職しやすい体制づくり、雇用のミスマッチ解消や

▼小学校：家の仕事の手伝い、自然体験、職場見学 ▼中学校：職場体験ボランティア活動・地域活動への参加、出前授業 ▼高校：インターンシップ、ジョブインタビュー
このような「学校以外の活動」がキャリア教育であると思われるかもしれませんが、そうではありません。実際には教科指導や学校行事、進路指導など学校のあらゆる教育活動の中に内包され、発達段階に応じて形を変えながら継続的に行われています。

キャリア教育支援を通じて 地域の担い手育成を図る

市では、キャリア教育の過程で「子どもたちが地域の産業や企業に対する理解を深める」ことで、地域とのつながりを作り、将来の選択肢の一つとして「管内就職」を考えてもらうことをねらって、キャリア教育へ

■文部科学省では、キャリア教育で養う能力について、次のように定めています

- ①人間関係形成能力（自他の理解能力/コミュニケーション能力）
- ②情報活用能力（情報収集・検索能力/職業理解能力）
- ③将来設計能力（役割理解・認識能力/計画実行能力）
- ④意思決定能力（選択能力/課題解決能力）

の支援を行っています。このために、平成27年度に産業経済部と教育委員会が連携して「久慈市キャリア教育推進協議会」を設立。学校に対する情報提供や企業等との仲介など、小中学校で実施されるキャリア教育をサポートしています。

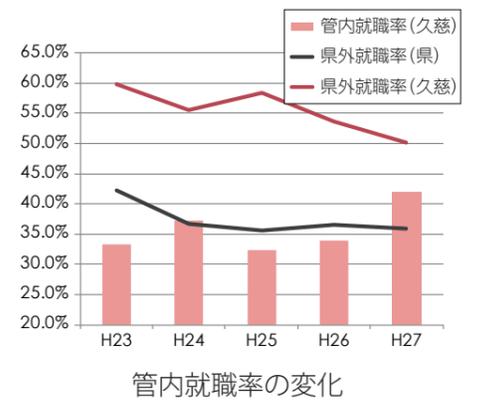
**よりよい学びのためには
地域ぐるみの実践が不可欠**

キャリア教育のねらいが「将来的に社会の役割を担い生きていくため」である以上、実社会に接しながら自ら学びとることが重要です。文部科学省の中央教育審議会においても「保護者、地域、企業など社会全体がそれぞれの役割を担い、相互に協力して子ども・若者を支えていかなければならない（*）」としており、学校を中心としながらも、地域社会が連携・協力して教育活動を展開することが欠かせません。

家庭や企業など、地域社会が連携して「地域ぐるみで子どもたちを育てる」ことで、キャリア教育の効果をより高めるとともに、地域とのつながりが生まれるはず。まずは子どもたちが、一人の自立した人間として「この地域で生きていきたい」と思えること。それこそが、次世代の地域の担い手確保につながるいくつかではないでしょうか。

キャリア教育の目的は社会で 主体的に生きる力を育むこと

キャリア教育の目的は「働く」というテーマを通じて「社会で担う役割を、主体的に判断して生きるための資質」を養い、勤労観・職業観を形成すること。また、児童生徒が自身と社会との関わりを幅広くとらえることで「学校」と「実社会」との間にあるギャップを埋める役割も期待されています。社会との関わりの中で行われる実践例として、次のような活動が挙げられます。



*中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（第二次審議経過報告）」平成22年5月17日による

学校と企業、双方から協力していただくことで、「地域ぐるみ」で、子どもたちのよりよい学びにつなげたい

企業を訪問し、職場体験の受入可能な事業所リストを作成し、学校に提供したところ、大変好評をいただきました。業種によっては、中学生に体験させられる業務がないので受入は難しいと答える事業所もありますが、訪問して職場体験の目的や他事業所の実践内容を伝えると「こんな方法なら受け入れられるかも」と言ってくれることも多々あります。実際に訪問し、時間をかけて受入先を開拓でき、その際にどのような体験が可能かしっかり調整できることが強みだと思っています。

久慈市の企業は、地域のためにも求められれば協力したいという意識が高いと思います。地域の将来を危惧して、また社会貢献の一環として積極的に学校に関わりたいたいという声がある一方、「学校と連携するための方法がわからない」とか「体験をどう受け入れればいいのかわからない」といった声も聞かれます。このため、情報共有の場として、職場体験向上セミナーなどを実施し、教職員と企業関係者の意見交換を行っています。企業が持つ力を、教育に最大限活用していくためにも、積極的に参加してほしいと思います。

職場体験は、これまで学校が単独で企業と連絡・調整を行い実施してきましたが、双方にとって負担が大きいのではないでしょうか。協議会が仲介役になることで互いの負担を減らしながら、よりよい活動にしていけることができると考えています。「地域ぐるみ」の枠組みは、継続的に利用してもらうことで、より有効なものとなっていきます。子どもたちのよりよい学びのためにも、学校と企業双方に積極的に協力していただければと思います。



キャリア教育支援員

佐々木 由美子さん

■夏井中学校 職場体験事前・事後学習（講師紹介の事例）



職場でのあいさつを練習する生徒たち

夏井中学校では、6月17日、職場体験学習の事前学習を行いました。講師を務めたのは、ジョブカフェ一関でキャリア教育支援を行っている金野馨センター長。体験を控えた生徒たちが、職場でのあいさつの仕方など体験中のルールやマナーを確認した他、職場体験を通じてどのようなことを学ん

でくるかを考えました。

9月6日には、事後学習の一環として、受入企業を招待し体験の成果をまとめた発表会を開催。生徒全員が、体験した仕事や学んできたことを発表しました。また、併せて、今後のよりよい体験活動につなげるために、参加した受入企業と意見交換を実施しました。

■侍浜中学校 進路学習講座（講師紹介の事例）

侍浜中学校では、地域で働く人々を講師に、仕事を通じたこれまでの生き方や仕事への思いを聞く学習講座を昨年からは実施しています。11月2日、医療・福祉・美容師・保育士・調理・製造業・林業など9つの職業の講座が開講され、生徒たちは2種類を選択して受講しました。銀行と公務員の

講座を受けた生徒会長の谷崎圭祐さん（3年）は「講師の先生たちの中学・高校時代の話聞いて、自分も進路についてしっかり考えなくてはと実感しました。私は将来もここで暮らしていきたいと考えているので、地元で働く人の話を聞いて、これからの進路選択の参考になりました」と話しました。



実演を交えながら調理の仕事を紹介

「地域の力」を活かせる協力体制づくりを目指す

「地域ぐるみ」での次世代育成を目指し、キャリア教育への協力体制づくりを進めているキャリア教育推進協議会。その概要や取組、支援を行った事業などを紹介します。

中学校段階のキャリア教育で学校と企業の連携手法を模索

久慈市キャリア教育推進協議会（以下、協議会）は、企業支援などを担う産業経済部と、学校を所管する教育委員会をメンバーとして平成27年度に設立しました。現在は、NPO法人やませデザイン会議が委託先となり、キャリア教育支援員1人を配置して学校が行うキャリア教育の支援を行っています。

現時点では、中学校段階のキャリア教育を対象に「どのように学校と企業が連携していけるか」という産学連携手法の調査や試行、また企業に対する普及・啓発活動や情報交換を主な活動としています。



夏井中学校1年生が毎年行っている農業体験。学校近くの水田で田植えや稲刈りなどを体験します

教育の枠組みづくりを推進し地域ぐるみで子どもを育てる体制

市内の学校で実施されている、職場体験学習をはじめ、企業・工場見学、出前講座、農業体験・自然体験・販売体験など特色ある活動。これらの活動に学校・企業・家庭・住民など、子どもたちを取りまく「地域」が、これまで以上に積極的に関わっていくことが、次世代の地域の担い手育成につながっていきます。

また、キャリア教育本来の目的を達成するためにも、地域の持つ教育的価値を最大限に利用することが欠かせません。協議会では、小学校から高校までの各段階に応じた、キャリア教育支援策の検討を進めることで、将来的に「地域ぐるみ」でキャリア教育を支援していける枠組み、協力体制づくりを目指しています。

◇協議会で実施している取り組み◇

■受入型のキャリア教育に対する支援

中学校の職場体験学習や高校生の企業見学会などをサポートしています。

中学校の職場体験学習は、これまで学校が独自に体験先の確保を行ってきましたが、実施には数十の事業所との連絡・調整が必要で負担が大きいことから、協議会が受入可能な事業所の確保や、体験可能な職種の新規開拓などを行い、受入先企業リストを作成して学校に提供しています。

■出張型のキャリア教育に対する支援

講演会など、学校に講師が出向いて行う形式のキャリア教育に対する支援として、講師の紹介や、地域の職業人による出前講座のコーディネートなどを実施しています。

■キャリア教育に関する状況調査

学校や企業を訪問し、情報交換を行っているほか、職場体験に関するアンケートなどを実施して、実態の把握や改善に向けた取り組みを進めています。

■地域の企業に対する普及・啓発活動

「どのような取り組みをすれば、職場体験の目的達成に近づけるのか」「受入の際にどのような準備が必要なのか」といった声を受けて、企業向けの研修会などを実施しています。今年度は、久慈広域4市町村が参画する県北広域振興局「久慈地域キャリア教育研究会」と合同で中学生の職場体験受入に関する勉強会を開催し、約20企業が参加しました。

■学校と企業の情報交換を支援

企業側の「学校とどのように連携すればいいのかわからない」というギャップを解消するために、学校教職員と企業関係者が情報交換できる場として、合同でセミナーなどを開催しています。



6月16日に県北広域振興局と合同で開催した企業を対象とした勉強会

自ら考え判断する力を身につけた上で 「この場所で生きていきたい」と考えるのは素晴らしいこと

学校としてのキャリア教育の目的は、自ら考え判断し、自らの人生を切り開いて行ける人間に育てることです。それを身につけた上で、自ら「この場所で生きていきたい」と考え、選択する人が出てくるのであれば、それはとても素晴らしいことだと思います。

職場体験に行ってきた成果は、すぐに表れる訳ではありません。しかし、実際の社会や仕事の現場で「あいさつ」や「礼儀」の大切さ、仕事の大変さに気付いた生徒たちは、やはり内面から変化してくるようになります。中には、体験の感想で「学校でやる勉強って大事なんだと気づいた」と話す生徒もおり、学校としては、こうした「気づき」をきっかけにして、生徒たちに自ら「頑張ろう」という気持ちを持たせていくことが大切だと考えています。同じ中学生でも、一人一人個性があり、得意不得意があり、すぐに環境に適応できる生徒もそうでない生徒もいます。受入企業の皆さんには「いろんな子がいるんだ」と意識して、生徒たちの学びを温かく見守っていただければ幸いです。

今回の職場体験にあたり、キャリア教育推進協議会には受入可能な企業のリスト提供や事前学習の講師派遣などをしていただきました。職場体験は、生徒たちにとって貴重な学びの機会となりますが、企業との連絡調整や保険加入、送迎などが必要となり、学校単独で実施すると負担が大きいのも事実です。貴重な機会をよりよいものにしていくためには、行政や企業から協力いただくことが不可欠ですので、今後の「地域ぐるみ」での体制づくりに期待をしています。



久慈市立夏井中学校 校長

火石 修さん

企業にも「地域を守っていく」視点が必要 体験を通して生まれる「地域とのつながり」が大切



三陸鉄道株式会社 久慈駅長

駒木 健次さん

三陸鉄道は、地域と密接な関わりを持って運行されています。そのため、地域に還元できることが有ればと、積極的に職場体験やインターンシップの受入を行っています。地域から人が減れば、地域にある仕事も成り立たなくなっていきます。企業も地域を守っていくために協力していかなくてはならないと思っています。

体験の受入にあたっては、車両の運行、車内販売による接客、車両や路線の維持管理など、三陸鉄道が行っている仕事全体が俯瞰できるような体験プログラムを作成しています。また、このようなプログラムを作ることは、自分たちの仕事を再認識できる良い機会にもなっていると感じています。

また、我々としても時間と労力をかけて受入をする以上は、生徒の皆さんに学校生活とはまた違う有意義な体験をしてもらい、しっかり学んでほしいという思いがあります。今後、学校と企業が互いに情報をフィードバックしていければ、より良い体験につながると思うので、キャリア教育推進協議会が学校との「つなぎ役」を担ってくれることを期待しています。

現在、三陸鉄道で運転士として活躍している社員の中にも、中学校の時に職場体験で来てくれた生徒がいます。就職という大きな決断をする上で、仕事の現場を見て大変さなども知っているというのは、本人にとっても企業にとっても大きなメリットになると思います。このような、体験を通してできる「地域とのつながり」を増やしていくことが、これからの地域を守っていくことにもつながっていくのではないのでしょうか。

■夏井中学校 職場体験学習

職場体験学習は、現在市内の全中学校で実施されています。事業所等を訪問し、実際の仕事を通して体験学習を行うため、よりよい学びのためには、特に企業等の協力が不可欠です。7月4日～6日の3日間にわたり実施された夏井中学校の職場体験から、生徒たちの学びと学校側・企業側の視点を聞きました。



やりがいを感じる仕事

県立久慈病院
中田 優音さん

将来、医療関係の仕事に就きたいと思い、病院ではどんな仕事をしているのか知りたくて希望しました。看護師のほか、リハビリや栄養管理、検査科、薬剤科などを体験し、病院内にはさまざまな仕事があるのだと実感。看護師の体験では、患者さんに食事を運んだり、病室を回って話をしたりしました。患者さんと話すのは、普段友達と話す時とは違うので緊張したけれど、相手の目を見てハキハキ話すことを心がけました。

職員の皆さんは、常に患者さんのことを一番に考え、気を配っていました。体験前は、働くことは「生活のために」という感覚が強かったけれど、体験を通じて「患者さんのために」とやりがいを感じながら仕事をしている人がたくさんいるのだと気付きました。



大切なことを実感

久慈郵便局
長岡 琴葉さん

家族が務めているので、どんな仕事をしているのか知りたくて郵便局を希望しました。

体験に行くと、窓口立つ前に指導されたのが、あいさつや表情、身だしなみ、態度、言葉づかいなど、礼儀などの大切さです。「一人でも出来ていないと全体の評価が下がる」と言われて、学校でも習うことだけれど、仕事をする上でもそうなのだと思えました。

体験では窓口業務や郵便物の仕分けを行いました。窓口業務は、窓口の開いていない時間帯にも準備など多くの仕事があり、普段お客さんとしてきたときに見える仕事だけではないのだと知りました。仕分け作業は、自分が扱った郵便物が実際に誰かのところに届くと思うと、少し不思議な気分でしたが、嬉しかったです。



自分で考え動くように

鬼は内
工藤 向日葵さん

ペットショップや牧場など動物関係の仕事に興味があったのですが、今回は体験先の選択肢になかったので、母が飲食店で働いている関係から「実際にどんな感じなんだろう」と思い、この体験を希望しました。

お店では接客のほか、片づけや食器洗いを体験。そば打ちやうどん作りもさせてもらいました。接客は、作業中でもお客さんが来たら最優先でしないといけないので、素早い切り替えが必要で想像以上に大変。でもお客さんの「ありがとう」という言葉や笑顔で帰る姿に達成感を感じました。体験の中で、お客さんを待たせないように「常に周りを意識」して「言われて動くのではなく自分で状況判断して動く」ようになれたので、今後の生活にも生かしていきたいです。



「人のため」に何かする喜び

元気の泉デイサービスセンター
田澤 環太さん

施設では、利用者さんと話やレクリエーションをしたほか、掃除や洗濯など裏方の仕事も体験しました。

体験前に「利用者さんとのコミュニケーションが大切」と指導されました。その時は、それほど難しくないと思っていましたが、いざやってみると細かな気配りが必要で、大変なことだと気付きました。職員さんは、耳が遠い人には耳元で話したり、困っている人にすぐ気付いて対応してましたが、私にはそんな余裕がありませんでした。でも、最終的には自分なりに気配りをしながら仕事をできるようになったと思います。

体験を通して、感じたのは「人のために何かすることの喜び」。仕事は「ただ生きるために必要だからする」というだけではないのだと実感しました。



あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



家族から祝福される初太郎さん(中央)

佐々木初太郎さん(大川目町) ふれあい楽しみに

11月1日に100歳の誕生日を迎えた佐々木初太郎さん。自宅で行われた長寿祝いは、お祝い状などを受け取り「ありがとうございます」と深々とお辞儀をしました。
デイサービスでの仲間とのふれあいを楽しみにしている初太郎さん。「80歳まで元気に働いたことが健康の秘訣です」と話してくれました。



久慈 あまちゃん マラソン 大会



つりがね洞の前を駆け抜けるランナーたち

11月6日、久慈あまちゃんマラソン大会(同実行委員会主催)が初開催されました。長内町の久慈市漁協前を発着点に、宇部町小袖地区に向かう県道268号久慈海岸線を走る往復コースで行われ、10km、5km、2km、ファミリー・ペアの4部門に約1000人がエントリー。ランナーたちは吹きすさぶ海風にも負けず、美しい海岸線が続くコースを駆け抜けました。この日は、第21回もぐらんぴあ駅伝競走大会が同時開催され、56チームがタスキをつなぎました。

Topics

気軽に泊まれる 市民の温泉

べっぴんの湯

■市民素泊まりプラン 3,900円～(1室3～5名利用時)
■各種宿泊プラン 1,500円引き(ビジネスプランは500円引き)

※グループに久慈市民の方がいる場合、全員が割り引き対象になります。お誘い合わせの上、ご利用ください
※インターネットからの予約は割引対象外です。また年末年始など割引が利用できない日もあります。詳細はご予約の際にお問い合わせください



たくさんの人から声援

野村 誠さん 愛花里ちゃん(矢巾町)
家族でマラソンを走ろうと、初開催ということもあってエントリー。たくさんの方が沿道から声援を送ってくれて、楽しく走ることができました。



10kmの部 (一般男子 高校生～39歳) 第1位

景色を楽しんで走れた

河村 達哉さん(盛岡市)
アップダウンが厳しく、海風も強かったけれど、景色を楽しめるコースでした。応援団の「あまちゃん」のテーマにのせた応援がうれしかったです。

もぐらんぴあ駅伝競走大会 結果

一般	高校女子	高校男子	中学女子	中学男子	部門
君の名は、	久慈高校 陸上部	久慈高校 陸上部	種市中	三崎中A	1位
大野かみRC		大野高校 サッカー部	久慈中	久慈中A	2位
一人山育ち			宿戸中A	種市中A	3位



来年もぜひ来たい!

(左から)菅野美裕さん、西村香織さん、須藤由香利さん(福島県郡山市)
あまちゃんファンで、以前から久慈に来たいと思っていました。今回は5kmを走ったが、来年はぜひ10kmにエントリーして景色を楽しみたいです。



自治功労 旭日双光章

なかつか すみお
中塚 佳男さん
(源道・77歳)

平成7年に市議会議員に初当選。以来5期20年にわたって議員を務め、議員定数削減などの議会改革に力を尽しました。受章を受け「文句もいわず、一生懸命支えてくれた妻にありがとうと伝えたいです。私よりも功績がある方々がいる中でこのような名誉にあずかり恐縮ですが、この受章に恥じぬよう今後も精進していききたいと思います」と話しました。



高齢者叙勲 教育功労 瑞宝双光章

しもまち かおる
下町 薫さん
(田屋町・88歳)

昭和24年に教職に就き、昭和62年の退職まで久慈中学校長などを歴任。山根小学校や二戸市釜沢小学校など、へき地・小規模校教育の実践・研究にも取り組みました。受賞にあたり「得意な絵を生かし、児童・家庭・地域と一体で実践に取り組んだ事が印象に残っています。今後も絵を描き、有意義に過ごしてまいりたいと思います」と話しました。



消防功労 瑞宝単光章

よしだ あきら
吉田 章さん
(中町・74歳)

昭和47年から平成24年まで消防団員を務め、地域の防火活動等に尽力。平成20年からは副団長として団員の育成に積極的に取り組みました。受章にあたり「家族の支えと団員の協力、勤務先の理解があつての受章だと思っております」と話し、「団員の皆さんには健康に気を付け、活動に従事いただきたいと思います」とエールを送りました。

秋の叙勲

このほど、平成28年秋の叙勲が発表されました。市内の受章者の皆さんを紹介します。

長年にわたる活動の功績・功労により、次の皆さんが表彰を受けました。

- 総務大臣表彰(国勢調査功績者) 日影 豊美智さん
- 経済産業大臣表彰(動態統計調査功績者) 小野寺 久子さん
- 厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者) 女澤 宏さん 宮澤 孝子さん



高齢者叙勲 教育功労 瑞宝双光章

くじ かずろう
久慈 和郎さん
(小久慈町・88歳)

昭和23年に教職に就き、平成元年の退職までに宿戸中学校長、長内中学校長などを歴任しました。受章にあたり「転動でさまざまな土地を回りましたが、そのたびに「その土地に溶け込もう」と頑張ってきました。不便な土地もありましたが、教職を全うできたのも一緒に付いて来てくれた家族の支えがあったからこそだと感謝しています」と話しました。



消防功労 瑞宝単光章

かみかんだ まさみ
上神田 正己さん
(長内町・76歳)

昭和44年に消防団員を拝命。39年にわたり地域の火災予防等に取り組みました。また平成16年からは副団長として後進の指導育成に尽力しました。受章にあたり「住民の安全を守り、地域に貢献したいという思いが消防団活動の原動力でした。今後は災害時対応などで消防団の経験を活かし、地域を支えていきたいです」と誓いを新たにしました。

温かい支援 全国から

被災者への支援物資、義援金、市への寄付金
(10月21日～11月10日)

支援物資

義援金

台風10号の被災者の生活やまちの復旧・復興を支援しようと多くの支援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられています。温かいご支援、ありがとうございます。(敬称略)
※支援者の申し出に基づき掲載しております。名称等に誤りがある場合がありますが、ご了承ください。

- 市外
 - ▼横須賀市立久里浜中学校3学年
 - ▼(株)上智▼岩手県看護連盟(株)薬王堂▼伊藤紀男▼三陸鉄道(株)▼木村ヒロ子▼八戸セメント有志一同▼在久慈同郷会▼曹洞宗岩手県第三区寺院第三区教区護国寺▼バルケツジオコーヒ▼桑田キヨ▼I Love The Earth▼滝沢市議会市政調査会▼原沢尚子▼岩手県母親大会連絡会▼日本地下石油備蓄(株)▼レクイエムプロジェクト広島実行委員会▼釜石市立鶴住小学校児童会▼真言宗豊山派福祉基金▼高橋悦子▼山本信友会▼日本海信用金庫三隅支店▼橋浩司▼青木俊直▼小金井市観光まちおこし協会▼岩瀬英夫▼川瀬光八郎(株)C's A i c e▼たんぼば会▼ウーブリエ▼菅野まゆみ▼但陽信用金庫お客様募金▼土日ジャンボ市▼奥寺信之
- 市内
 - ▼(企業・団体)▼岩手県板金工業組合久慈支部青年部▼岩手県立久慈東高等学校▼夏井町宇津目町内会▼アレン記念教会▼宇部中学校生徒会▼トマト衣料館久慈店募金箱(個人)▼藤織ジュン▼宇部京子▼糸坪フミ子

振込

- ▼タニザキツトム▼イシダキョウイチ▼ゴトウリカコ▼マルヤマサヨリ▼ヒカリノココロドモノイエ▼オグラカズオ▼ヌマノマサミ▼シキサイカンホリグチ3テ▼ビューティークエストロセ▼ムロツキアツシ▼イトウマサル▼ヨシダチエコ▼モリオカセイコウカイ▼アサオカセイキチ▼ヘイセイ28ネンタイフウ10▼カワチシユウ▼ゼイユウカイクジシブ▼タカハシチエコ▼クラフトコウボウテイ▼イリユウビニヤマラン▼ヤマトヨシノリ▼クロサワアキラ▼ギンザマツナガアワ▼匿名2件

寄付金

- 市外
 - ▼全国市議会議長会▼東北電力(株)▼北上コロッケまるっとL a b▼いわてまち焼うどん連合隊▼一関ハラミ焼なじよつたべ隊▼中尊寺のん▼岩手県市町村振興協会▼日本共産党岩手県委員会▼日本共産党中央委員会▼熊本県市長会▼琴古流尺八全国竹友会岩手県支部▼さかなクン母
- 市内
 - ▼(企業・団体)▼(株)小山組▼久慈まめぶ部屋(有)光衛生社▼山口建設(株)(個人)▼大澤光太

NEWS

山根地域おこし協力協定を締結 新商品で地域づくりサポーター

11月6日、新山根温泉 べつびんの湯(村田勉支配人)と山根地域で地域づくり活動に取り組む山根六郷の里協議会(細畑賢会長)が「山根地域おこし協力協定」を締結しました。

同温泉が復興支援製品として販売する、新商品「田楽クッキー」と「湯あがりほつくりクリーム」の収益の一部を同協議会に寄付するものです。



協定書に署名する細畑会長(左)と山根理事長

NEWS 温かな歌声で応援



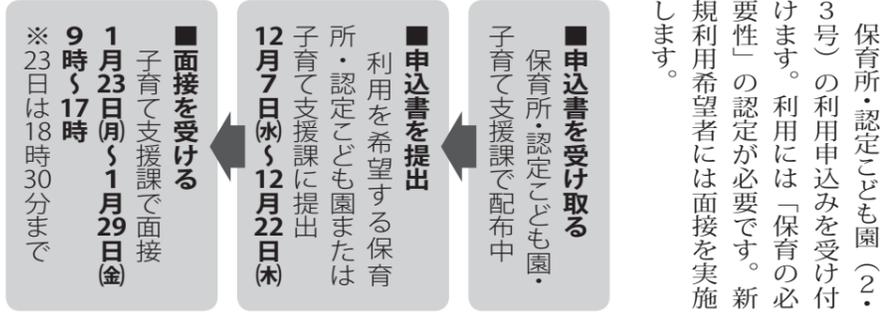
温かな語りと歌声で会場を元気づけたさだまさしさん

シンガー・ソングライターのさだまさしさんが、災害支援などを目的に設立した「風に立つライオン基金」。11月4日、アンバーホールで同基金が主催する台風10号被害からの復興支援コンサートが開催されました。さださんは、被災者ら約1150人を前に「関白宣言」「無縁坂」など自身のヒット曲を披露。温かな歌声が会場を包み込みました。コンサートを終え、さださんは「応援している人がいることを忘れないで」と訪れた人たちを激励し、遠藤譲一市長に義援金100万円を送りました。



平成29年度 保育所・認定こども園(2・3号)の利用申込みを受け付けます

園子育て支援課 ☎ 52-2169



保育所・認定こども園(2・3号)の利用申込みを受け付けます。利用には「保育の必要性」の認定が必要です。新規利用希望者には面接を実施します。

- 申込書を受け取る
 - 保育所・認定こども園・子育て支援課で配布中
 - 申込書を提出
 - 利用を希望する保育所・認定こども園または子育て支援課に提出
 - 面接を受ける
 - 子育て支援課で面接
- ※23日は18時30分まで

保育を必要とする事由
次のいずれかを満たす場合
①就労②妊娠・出産③保護者の疾病・障害④同居または長期入院中の親族の介護や看護⑤災害の復旧⑥求職活動(起業準備を含む)⑦就学(職業訓練を含む)⑧虐待やDVのおそれがあること⑨育児休業取得中、既に保育を利用している子どもの継続利用が必要であると認められること

次の場合は、子育て支援課までお問い合わせください。
▼5月以降に新たに保育を希望する場合は、市が認定を行った後、利用希望施設との調整を行い利用を決定します。
▼市外の施設への利用希望
久慈市に住居登録している人は、他市町村の施設への利用を希望する場合も、久慈市で認定申請が必要です。

除雪作業にご協力をお願いします

- 路上駐車はやめましょう**
路上駐車があると、除雪車が除雪を行えないだけでなく、緊急車両の通行の妨げになります。絶対にやめましょう。
- 道路への雪出しは通行の妨げ**
除雪後に道路に雪を出すと、路面に凹凸やわだちが発生し、通行の妨げになるばかりか、交通事故の原因にもなります。絶対にやめましょう。
- 枝の伐採はお早めに**
個人所有の土地から道路に伸びる枝などは所有者に管理責任があります。雪の重みで折れるなどして歩行者や車両に危険が及ぶ恐れがあるため、早めの伐採をお願いします。
- 玄関前などはご家庭で**
除雪には細心の注意を払っていますが、除雪車の構造上、除雪した道路脇に雪が残ってしまいます。玄関前や私道、歩道、消火栓周辺はご家庭や地域で除雪をお願いします。
- 凍結抑制剤などの散布**
坂道などには凍結抑制剤入りの砂缶などを設置していますので、散布にご協力をお願いします。また、市道への散布にご協力いただける場合は、凍結抑制剤を提供しますので、行政連絡区長等を通じてお問い合わせください。
- 公共交通の利用を**
バス路線を優先的に除雪します。雪道の渋滞を緩和するため、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。
- 路面状況に合った運転を**
路面状況に合ったスピードと安全運転を心掛けましょう。

除雪の担当

- 国道45号
三陸国道事務所
久慈維持出張所 ☎ 53-2790
- 国道281号・395号・県道
県北広域振興局土木部 ☎ 53-4990
- 市道(久慈地区)
土木課 ☎ 52-2124
- 市道(山形地区)
産業建設課 ☎ 72-2129

*近年、道路の除雪を担う業者が不足しています。除雪にご協力いただける業者または個人の方がありましたら、ご連絡ください。



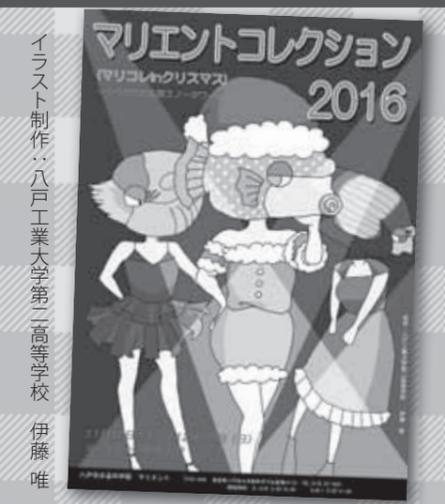
身近な「ギカイ」目指して

ギカイと語ろう「しゃべり場」開催

久慈市議会では、より市民に身近な議会を目指して、例年行っている議会報告会の形式を変更。これまで大きな地域ごとに実施してきた報告会を、事前に町内会等からの申し込みを受け、希望に合わせて開く「ギカイと語ろう「しゃべり場」として実施しました。

10月30日から11月2日までに、開催要請のあった地区の6会場に加え、台風10号で被害の大きかった市街地を対象とした計8回を開催し、地区住民など109人が参加。訪問した市議員と地域の課題について懇談しました。

八戸★トピックス



マリエント ☎ 0178-33-7800

■日時
12月25日(日)まで 9時～17時

■場所
八戸市水産科学館マリエント3階展示室(八戸市鮫町字下松苗場14-33)

12月17日(土)～25日(日)は、19時まで「夜のマリエント」を開催します。ランタン片手に幻想的な空間を散策。クリスマスプレゼントお菓子釣りもできます。



勝浦で久慈とまめぶをPR

かつうら魅力市×B-1グランプリ 11月5日



交流を深める久慈まめぶ部屋のメンバーと来場者

千葉県勝浦市で「かつうら魅力市」が開催。B-1グランプリに出展する4団体がブースを構え、イベントを盛り上げました。久慈まめぶ部屋も出展し、同市のご当地グルメ団体のメンバーと一緒に久慈市をPR。会場はたくさんの来場者で終日にぎわいました。(金田)

日本初の「波力発電所」に

久慈波力発電所が運転開始 9月23日



久慈港玉の脇地区に設置された波力発電施設

文科省東北復興プロジェクトの一環として東京大学・生産技術研究所が玉の脇地区に設置した久慈波力発電所(定格43kw)が運転を開始。電力網に接続する「発電所」として波力発電を行うのは日本初で、今後2年間に渡って発電量やコストなどの実証実験を行う予定です。



1/自信作の干物をPRする浜っこーちゃんクラブの皆さん 2/旬のアワビやサンマなどが販売されました

地域の魅力が一堂に

第1回侍マルシェ 11月12~13日

侍浜町振興協議会(西村秀雄会長)は、侍浜地区農村センター前広場で、海産物や農産物など地元の特産品を集めた「侍マルシェ」を初開催。同協議会などが取り組む地域ブランドづくりの一環として行われたもので、アワビなどの海産物やとれたての野菜を特別価格で販売しました。会場では、地域ブランド商品として開発中のサバやドンコの干物の試食会が行われ、地元企業が販売するサケ汁や焼鳥、牛串などととも、来場者が舌鼓を打ちました。「侍浜は農林水産業が盛んで、良い素材がたくさんあります。これらに付加価値を与える地域のブランド力を育てたいと考えています」と話す西村会長。「実際にイベントを開催してみて、漁業と農業で商品を用意できるタイミングが違うなど、課題もわかってきました。これをもとにみんなで話し合いを進め、よりよいものにしていきたいです」と意気込みます。

交流深めたバードカービング

木工(バードカービング)教室 10月28日



真剣なまなざしで仕上げの色付けする参加者

山根公民館で行われたバードカービング教室に小久慈・山根両地区から14人が参加しました。講師の羽行英雄氏の指導で参加者はシジュウカラの制作に挑戦。全5回の教室で見事に仕上げました。作品は小久慈町民文化祭で展示され、両地区の交流も深まりました。(大久保)

芸術・文化の秋にいざなう

平成28年度久慈市民芸術文化祭 11月4~6日



小ホールで舞台発表を行う久慈大正琴の会の皆さん

アンバーホールを会場に市民芸術文化祭(久慈市芸術文化協会など主催)が開催され、絵画や書道、写真など各団体から出品された自慢の作品が一堂に会しました。また、5日には演奏や舞踊などの舞台部門の発表も行われ、訪れた人々を芸術・文化の秋にいざないました。

もっと身近に「さんてつ」を

第8回秋のさんてつ祭り 11月6日



恒例の餅まきで盛り上がる久慈駅前広場会場

久慈駅前広場と車両基地を会場に、秋のさんてつ祭り(三陸鉄道㈱主催)が開催されました。会場では、車両展示や各種ステージに加え「車両つな引レース」や「鉄道用品販売」などのイベントも開催。訪れた親子連れなどと共に、多くの鉄道ファンたちを楽しませました。

世界に触れるきっかけに

もぐらんぴあに「触れる地球」贈呈 11月12日



デジタル地球儀に興味津々の子どもたち

大気の流れや海流の動きなど、さまざまなデータを映し出せるデジタル地球儀「触れる地球」が、24時間テレビチャリティー委員会から市に寄贈。この日、贈呈式と開発者の竹村真一さんの記念公演が行われました。「触れる地球」は、もぐらんぴあ管理棟に常設展示されます。

優雅な舞に盛大な拍手

子どもたちが夏井大梵天神楽を披露 11月13日



舞台を目一杯使い、舞を披露する子どもたち

県指定・無形民俗文化財の「夏井大梵天神楽」の伝統に取り組む夏井地区の小中学生が夏井町民文化祭で成果を発表しました。保存会の指導の下、練習を重ねた子どもたちは大勢の観客の前で優雅な舞を披露。盛大な拍手に達成感に満ちた笑顔を見せていました。(梅沢)

防災への意識を高める

湊地区で防災訓練 11月3日



11月10日に完成した避難タワー

湊町の下組町内会(七十刈清明会長)と中組町内会(七十刈良一会長)が防災訓練を実施。参加した約70人の住民らは、新設された津波避難タワーの使用方法などを確認後、避難所となっている湊地区防災センターに移動して、消火訓練や炊き出し訓練を行いました。

清掃活動で地域に貢献

侍浜中学校に小さな親切実行章 11月2日



侍浜中学校生徒会の皆さん

毎年、全校で地域の民家や公民館などの清掃活動「サマー清掃」に取り組んでいる侍浜中学校に小さな親切実行章が授与されました。生徒会長の谷崎圭祐さん(3年)は「活動が認められ、とても嬉しいです。今後も後輩たちが引き継いでいってほしいと思います」と話しました。

旬の「鮭」食べて知って

地産地消ふれあい給食の日(鮭の日) 11月11日



実物を見ながらサケについて勉強中

「鮭の日」にちなんで、サケを始めとする地元食材を使った「地産地消ふれあい給食の日(鮭の日)」が小袖小学校で開催されました。「鮭の南蛮漬け」を美味しくそうに頬張った児童たち。給食後は、サケの生涯や稚魚の放流活動、雌雄の見分け方などを学びました。

元気
健康
だより

～通いの場のすすめ～
閉じこもりを予防しよう

☎ 地域包括支援センター ☎ 61-1557

週一回の外出と体
操で健康元気



今月の元気さん



おやまだ 西山 西蔵さん
(侍浜町・81歳)

週1回、元気の泉に集まり仲間と体操や料理を楽しんでいます。

週に1回は外出していますか。「いいえ」という人は閉じこもりの予防対策が必要です。高齢者の閉じこもりの要因として、骨折や関節の痛みなどにより活動範囲が狭くなる身体的な原因や転倒への恐怖や親しい人との別れによる喪失感など精神的な原因、友人が近くにいないことなどが挙げられます。閉じこもりの生活では筋力が低下し転びやすくなります。活動量が減ることによる食欲の低下で低栄養の状態となり、さらに筋力が低下

するといった悪循環を招き、寝たきりや認知症へとつながりかねません。

大切なのは家庭や社会において役割を担い、人と社会のかかわりを持つこと。交流を通して出かける楽しみや意欲を高め、外出の機会を増やしましょう。

市内では現在、「いきいき百歳体操」を実践したり、調理や会食で交流を行う「通いの場」が20カ所以上立ち上がっています。まずは週1回参加してみませんか。

子育て
応援
だより

利用案内

子育て支援センター (川崎町11-1) ☎52-3210

■対象・利用料…未就学児と保護者・無料

■利用時間…①月～金 8時30分～17時 ②土 8時30分～13時30分

■休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日

※28日(水)の自由来所は12時までです。

日	時間	行事名
5月	10:00～11:30	リフレッシュ講座「羊毛フェルト」
7(水)	13:30～15:00	赤ちゃんサロン 対象…1歳3カ月までのお子さんと保護者
9(金)	10:00～11:30	リフレッシュ講座「七宝焼き」
12月	10:30～11:30	ひよこ教室
14(水)	11:00～11:20	絵本の読み聞かせ
20(火)	10:00～11:30	クリスマス会 ※先着50名(要申込)
22(木)	終日	あそびの教室 対象児が決まっているため自由来所はできません



行事の紹介



クリスマス会

みんなで一緒にパネルシアターを見たり、歌やダンスを楽しもうね！サンタクロースも遊びに来てくれますよ☆

今月の元気ちゃん



なかかわら 中川原 玲央くん
(5歳・川貴保育園)

おゆうぎ会でこぶとりじいさんのげきをするよ。みんなに見てほしいな。

写真で久慈市を振り返る

なつかしタイムカプセル

平成2年12月5日



第1回三船十段杯久慈国際親善柔道大会が開催。4カ国の選手団が参加し、熱戦を展開しました。

編集後記

先日、みちのく潮風トレイルを一部区間ですが、初めて歩きました。子どもの頃に野山で遊んだ記憶がよみがえり、ワクワクしました。しばらくは寒くなる一方なので、春が来てから、また童心に帰りに行こうと思います。(広崎)

珍しく私用で、久慈中吹奏楽部のありがとコンサートに行きました。自分たちのやってきた事で涙を流せるというの、とてもカッコいい事だと思えます。私も人生でもう一度くらい、そんな涙を流してみたいものです。(後)

図書館
だより



《市立図書館》 ☎ 53-4605

■開館時間…9時～19時(土日祝は17時まで)

■休館日…5月、12月、19月、26月、29(木)～31(土)

北三陸の歴史探訪～久慈・九戸地方の風土と人物～



酒井久男/著
九戸歴史民俗の会/出版
郷土史を愛好する九戸歴史民俗の会がデーリー東北に連載した「北三陸のいのち」を再構成し出版。北三陸の歴史、民俗、人物などを網羅した郷土史本です。写真も入り愛好家から初心者まで分かりやすく読みやすい一冊です。

- 企画展「クリスマスの本展」…2(金)～25(日)
- 企画展「冬休みおすすめ本展」…22(木)～1/22(日)
- 手作りしおり教室…17(土)10:00～12:00(中央公民館)
- 図書館映画会…①10(土)②24(土)10:00～14:30(2回)
- 朗読劇「いちょうの実」「泣いた赤おに」…17(日)14:00～
- チビッコの部屋…①10(土)11:00～②24(土)14:00～
- ブックスタート…15(木)①10:30～②13:30～ ※①4～5カ月児相談、②6カ月児健診の会場(元気の泉)で開催

12月の利用案内

おすすめ図書

イベント情報



《山形図書館》 ☎ 72-3711

■開館時間…10時～18時

■休館日…5月、12月、19月、23(金)、26月、29(木)～31(土)

賢治童話ビジュアル辞典



中地文/監修
岩崎書店/発行
宮沢賢治の童話に登場する物や自然、生き物などを写真やコラムでビジュアルで紹介した事典。その項目の説明のほか、賢治自身や当時の岩手・花巻にまつわる話、歴史に関わる内容、どの童話に出てくるかなどを掲載。

- 企画展「からだにやさしい本展」…20(火)まで
- 企画展「クリスマス図書展」…1(木)～25(日)まで
- 企画展「冬休みおすすめ図書展」…21(水)～1月22(日)まで



アンバー
ホール
情報

音楽の贈り物 vol.3
～ジャズとクラシックの共存～

▶会場…アンバーホール
大ホール

▶料金…一般4,000円
高校生以下2,000円
(全席指定)

※当日500円増

■出演者…小曾根真(ピアノ)、永峰高志(指揮)、仙台フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)



☎ 文化課 ☎ 52-2700

1月14日(土)
14時開演
(13時30分開場)

親子のためのコンサート
【音楽の絵本】



▶日時…3月4日(土)

13時30分開演(13時開演)

▶会場…アンバーホール大ホール

▶料金…一般2,000円、高校生以下1,000円(全席指定) ※4歳未満無料。座席が必要な場合は有料

■出演者…ズーラシアンブラス(金管五重奏)、弦うさぎ弦楽四重奏

12月17日(土)9時からチケット発売開始!

生活
環境
だより

☎ 生活環境課 ☎ 54-8003



地球や家庭にやさしいウォームビズ

環境省では暖房時の室温を20℃にして快適に過ごす「ウォームビズ」を呼びかけています。

電力による冷暖房を行う場合、室温を調整することで得られる省エネ効果は夏よりも冬の方が大きいことが知られています。冬の暖房器具使用時に室温設定を今までよりも下げるようにすれば、二酸化炭素削減効果があるばかりでなく、電気代を効果的に節約することにもつながります。

暖房機器に頼りすぎず、地球や家庭に優しいウォームビズ。自宅や職場で実施しましょう。

暮らしの情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からも掛けられます

お知らせ

満足度アンケートにご協力

市の施策に対する満足度・重要度を把握し、その結果を今後のまちづくりに反映していくために、「市民満足度アンケート」を実施します。

調査は無作為に抽出した20歳以上の市民2,000人を対象に実施。対象となる人には12月上旬に調査票を郵送します。

久慈市を住みよいまちにしていくための重要な調査です。ご協力をお願いします。

☎政策推進課 ☎52-2115

ミツバチの飼育届を忘れずに

仕事や趣味を問わず、ミツバチを飼育している人には届け出が義務付けられています。詳しくはお問い合わせください。

▶届出期限…1月31日(火)

☎県北広域振興局農政部 ☎53-4983

教育委員会 会議の予定

☎教育総務課
☎52-2154

▶日時…12月15日(木)14時50分～
▶会場…市役所2階・特別会議室
※傍聴可。日程は変更する場合あり

歳末たすけあい芸能大会

福祉、ボランティア団体などによる芸能大会。益金は歳末たすけあい運動募金に充てられます。

▶日時…12月11日(日)12時30分開演
▶会場…アンバーホール
▶入場券…一般500円、学生300円

■チャリティ演芸会も開催

▶日時…12月4日(日)12時30分開演
▶会場…おらほーる(入場料無料)
※受付で義援金を募集します

☎社会福祉協議会 ☎53-3380

☎社会福祉協議会山形事務所 ☎72-2800

ひとり親家庭等の法律相談

離婚や養育費など日常生活の悩みや困っていることへ弁護士が無料で相談に応じます。予約が必要です。

▶日時…12月14日(水)10時～15時

▶会場…久慈地区合同庁舎

▶対象…ひとり親家庭、寡婦など

☎県北広域振興局保健福祉環境部 ☎53-4982

調理師の届け出を忘れずに

飲食店や給食施設などで調理業務に従事している調理師は調理師法に基づき、2年ごとに就業地の知事に届け出ることが義務付けられています。忘ずに届け出をしましょう

▶届出の内容…平成28年12月31日現在の状況

▶届出先…久慈保健所

▶届出方法…電子申請のほか保健所窓口へ提出または郵送

▶届出期間…平成29年1月15日まで※保健所窓口は平成29年1月4日～13日の平日

☎県庁くらしの安全課 ☎019-629-5322

雇用保険の適用拡大

平成29年1月1日より、65歳以上の人も雇用保険の適用対象となります。加入手続きが必要となります。詳しくはお問い合わせください。

☎ハローワーク久慈 ☎53-3374

出稼ぎ(住民)健診

受診希望者で、まだ申し込みをしていない人はご連絡ください。

▶日時…平成29年1月4日(水)・5日(木)7時から11時

▶会場…元気の泉

▶対象…出稼ぎ者、特定健診対象者、後期高齢者など

▶受診料…①特定健診(出稼ぎ者)2,200円②肝炎ウイルス検診800円③大腸がん検診400円④胃がん検診1,400円⑤前立腺がん検診450円
※加入保険の種類と年齢で特定健診の受診料が変わります

☎商工振興課 ☎75-3891

☎保健推進課 ☎61-3315

申告にもマイナンバーカード

来年の申告手続きには、マイナンバーの記載と本人確認書類またはその写しの添付が必要です。

手続きの際、マイナンバーカードを持参すれば別途本人確認書類を準備する必要ありません。また、e-TAXを利用すれば本人確認書類の提示または写しの提出が不要です。詳しくは国税庁HP(<http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm>)をご覧ください。

☎久慈税務署 ☎53-4161(音声案内2番を選択)

当番薬局の 変更について

12月4日(日)の当番薬局が変更になります。
【変更後の当番薬局】
クイーン薬局 ☎53-5505
キング薬局 ☎61-1360

寝具類の無償提供

台風10号の被災者にふとんなど寝具類を無償提供いたします。希望する人は災証明を持参ください。

▶日時…12月11日(日)13時～15時

▶会場…慈光寺

☎高谷 ☎55-2660

障がい者への虐待を防ごう

12月3日～9日は「障害者週間」です。障がいのある人への虐待の疑いを発見したら社会福祉課へ相談してください。

☎社会福祉課 ☎52-2119

確認しよう!最低賃金

岩手県の最低賃金が平成28年10月5日から時間額716円に改正されました。詳細は問い合わせください。

☎岩手県労働局労働基準部賃金室 ☎019-604-3008

募集

冬休み!スポーツ教室

市内小学生を対象に、スポーツ教室を開催。ドッチビーやユニカールなどのニュースポーツを楽しもう!

▶期日…①1月9日(月・祝)②1月11日(水)③1月13日(金)

▶時間…13時30分～15時30分

▶会場…市民体育館※上履きが必要

▶定員…各回とも先着40人

▶参加料…無料

▶申し込み…開催日の前日まで

☎市民体育館 ☎61-3353

市営住宅空きあります

住宅名	戸数	家賃(月額・円)
萩ヶ丘地区住宅①	1	3,400～5,100
萩ヶ丘地区住宅②	1	3,800～5,600
萩ヶ丘地区住宅③	1	4,200～6,300

▶申込期限…12月15日(木)

☎建築住宅課 ☎52-2120

☎山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

久慈地方の求人説明会

「久慈地域に就職をしたい」「興味があるけどいろいろ不安」。そんな求職者の皆さんをサポートする説明会を開催します。お気軽にご参加ください。

▶日時…12月20日(火)13時～16時

▶会場…久慈職業訓練協会

▶対象…求職者、U・Iターン希望者及びその家族

▶定員…30人(定員になり次第締切)

▶内容…事業所からの説明及び希望者との個別相談(10事業所程度)

☎久慈地域雇用創造協議会 ☎75-3032

スキー・ボードを学ぼう

基礎から学べるスキー・スノーボード講習会。楽しく滑って上達してみませんか。

▶日時…①1月15日(日)②22日(日)10時30分～15時

▶会場…平庭高原スキー場

▶対象…一人でリフトに乗ることができる小学生以上の市民

▶定員…①スキー20人
②ボード10人

▶参加費…400円(保険加入料)

▶申込期限…12月21日(水)

☎久慈市体育協会 ☎61-3353



～予防接種特別日程～
12/11日 12/17日 12/23日 12/24日 12/28日
9:00～12:00 14:30～17:00 9:00～12:00 14:30～17:00 9:00～12:00
※予防接種のみの時間となります。ご了承下さい。
～休診日のお知らせ～
12/10日 休診 12/28日 午後休診
※午前予防接種特別日程
12/29日～H29.1/4日 休診
小児科・内科 ちだ医院
アレルギー科
久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

くじあさひ認定こども園
園児募集
ホームページをご覧ください
社会福祉法人 旭町福祉会
入園受付 久慈市川崎町3-12
オーリス荘1-1号 TEL75-3862

久慈ひまわり基金
法律事務所
相続 遺言 離婚 債務整理
破産 成年後見 不動産登記
など何でもご相談下さい
TEL0194-61-1818
※要予約
営業時間 平日9:00～17:30
久慈市川崎町12-18 YKビル1階

診療案内 小児科・アレルギー科・内科
関上こどもクリニック
年末年始のお知らせ
12/30・31 休診
1/1 休日当番医
1/2・3・4 休診
12/10日 臨時休診
久慈市長内町24-98-2
☎0194-75-3722

仏壇、神仏具、花罌、葬儀一式
くじせれモニールホール
メモワール・ノヴァ
長内館・川貫館・野田館
24時間体制で受付しております
(有)野場造花仏具店
久慈市十八日町 ☎52-2010

真心をこめた料理をお届け致します。
《各種仕出し料理承ります》
祝膳・仏膳・折詰・弁当・オードブル・寿司
(御予算に合わせてご用意させていただきます)
安心安全の目印「Sマーク」登録店
おおむら
久慈市長内町34-26-1
TEL 0194-52-1155

●広告掲載に関する問い合わせは
(株)レーベル・ホールディングス(☎52-0041)まで



1 / 大ぶりの鮭に、思わずとび出る「重た〜い!」の声 2 / 当日朝に地元で水揚げされた鮭 3 / イクラの手ざわりに興味津々 4 / 塩漬けにされた鮭。塩抜きして乾すと新巻鮭の完成です

地元あらかまきざけの海の恵み
 新巻鮭あらまきざけづくりに挑戦

久喜海づくり少年団では、漁業の後継者育成や地元の海を知ることが目的に、久喜漁業生産部などの協力のもと、久喜小学校の児童たちが磯観察や漁業体験を実施しています。

11月15日、この活動の一環として、久喜漁港で6年生の児童7人が新巻鮭づくりに挑戦。子どもたちは、漁協職員や久喜生産部・女性部などの指導を受けながら、鮭をさばいて、洗って塩漬けに。また、ネットを使って鮭の卵巣をほぐし塩水に浸してイクラづくりも体験しました。

副団長の大城凛おおしろさんは、新巻鮭づくり初挑戦。「難しかったのは、エラをとるところ。イクラはツブツブププチしてほぐすのが面白かったです。どちらも、自分で作ったので、食べるのが楽しみ」とにっこり。



いきいきキッチン

久慈市食生活改善推進員協議会 ☎ 61-3315

かぼちゃのクリーム煮

- 材料(2人分) 【1人分…167kcal / 食塩相当量 0.8g】
- | | |
|---------------|---------------|
| カボチャ…………… 80g | ミニトマト…………… 4個 |
| 煮豆…………… 20g | バター…………… 10g |
| 枝豆…………… 20g | 牛乳…………… 50ml |
| タマネギ…………… 20g | 塩麴…………… 大さじ1 |
| 豚肉…………… 20g | パセリ…………… 少々 |

○今月の担当…久慈2地区食生活改善推進員



- 1 カボチャは4cm角、豚肉は3cm幅、玉ねぎはくし型に切る。枝豆は皮をとる
- 2 鍋にカボチャを入れひたひたの水を加えて火にかけ、肉、玉ねぎを入れて煮込む
- 3 カボチャがやわらかくなったら、煮豆、ミニトマト、枝豆、塩麴を入れ弱火で煮る。牛乳、バターを入れて全体になじませ火を止める
- 4 器に盛りみじん切りにしたパセリを散らす

POINT カボチャにはビタミンA、ビタミンC、カルシウム、鉄分がバランス良く含まれていて、冬至に食べると風邪をひかないといわれています

わがやのアイドル



大門 桜子 ちゃん (7カ月)

後忠美さん、一子さんの孫(門前)

未就学の子ども、もしくはペットの写真を募集しています。写真に必要事項(氏名、年齢、性別、住所、申込者との続柄)を添えて、久慈市役所「広報くじ担当」まで郵送、または直接お持ちください。写真は掲載後にお返しします。